

公仕横調第 30 号  
平成 27 年 3 月 20 日

鎌倉市長  
松尾 崇 様

公益社団法人横浜歴史資産調査会  
会長 宮村 剛

旧 町 立 図 書 館 の 保 存 に つ い て

拝啓 陽春の候 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日ごろより当社の事業には格別のご支援ご協力を賜り、有難くお礼申し上げます。

さて当社が開設しております、歴史を生かしたまちづくり相談室に旧町立図書館の保存を求める相談が貴市市民の[REDACTED]様よりございました。

当事務局で、神奈川県都市整備課、横浜市都市デザイン室担当者、当社の三者で協議した結果、まず専門家による調査が必要と考え、平成 27 年 3 月 4 日に横浜国立大学名誉教授 [REDACTED] による調査を実施いたしました。

その調査の所見は別添の通りであり、歴史・文化都市である貴市において、かけがえない貴重な歴史的建造物と位置づけております。つきましては取り壊すことなく、貴市の宝として保存活用を目指すことを心よりお願い申し上げます。

敬具

【問い合わせ先】

公益社団法人横浜歴史資産調査会事務局  
〒231-0012 横浜市中区相生町 3-61 泰生ビル 405  
電話/FAX:045-651-1730

担当: [REDACTED]

鎌倉市役所  
平成 27.3.23 受付  
第 2804

## 旧町立図書館の建築史的所見

横浜国立大学名誉教授

御成小学校の敷地内にある旧鎌倉図書館は、鎌倉町立の施設として昭和 11 年 10 月に開館を見た。昭和 49 年に中央図書館が新築されてからは、鎌倉市役所の分庁舎の一つとして用いられてきているが、現在も創建当初の特注品である木製の書棚を備えた書庫がそのまま残されているなど、これがかつては図書館であったことを色濃くとどめている。この旧鎌倉図書館は、戦前に建てられた図書館の神奈川県内における唯一の現存遺構である。

旧鎌倉図書館の沿革は古く、明治 44 年に鎌倉小学校の敷地内に設けられた鎌倉町立図書館にまで遡るが、これは図書館設立にさほど積極的ではなかった神奈川県における最初期の先駆的な図書館であった。この前身図書館が関東大震災で倒壊した後に、それを継承するものとして建てられたのが旧鎌倉図書館である。いずれも鎌倉住民の寄付金によって建てられており、図書館では本の閲覧のみならず演奏会なども行われたようであるから、近代鎌倉の文化レベルの高さと鎌倉市民の文化意識の高さを物語るよき証左となっている。

旧鎌倉図書館は、木造 2 階建て、棧瓦葺き切妻、コンクリート布基礎（一部釉薬タイル張り）、モルタル塗り大壁、トラス小屋組の洋風建物で、創建当初の規模は建坪約 53 坪、総坪約 107 坪、その後増築が行われ、現状は延床面積約 406 m<sup>2</sup>となっている。窓は主として縦長の上げ下げ窓で、一部に片開きの三連窓を配す。外観は総じてシンプルであるが、両妻壁に懸魚のついた破風板を設けている。この和風意匠の挿入は、かたわらにある御成小学校講堂の意匠にならったか、あるいはこの地に御用邸があったことに因むものであろう。和風意匠の付加は内部にも見られ、2 階の「婦人閲覧室」は床を高くした畳敷きである（戦前の小学校の作法室を髣髴させる）。正面玄関上部に位置し、先述の縦長の上げ下げ窓と三連窓の双方を備えたこの部屋は、今日最も魅力的な空間ともなっている。内部の意匠もまたシンプルであるが、階段手摺りなどにやや和風のアール・デコの造形が見られる。

この建物の建設に関わった人々は不詳であるが、町役場の資料に「設計費打切 300 円監督費委員 3 人 90 人 1 円 50 銭づつ此金 135 円専任 1 人月宛 60 円 3 ヶ月分此金 180 円」とあるとされているから、かつての御成小の校舎や講堂と同様に、鎌倉町が建築委員 3 人を決めて施工業者を選び、設計は委員と業者、施工は業者が行ったものではないかと思われる。いずれにしても、ほぼ同時期に建てられた御成小学校の校舎と講堂との建築的な関わりは大きく、一連の建設事業と見なせるであろう。

旧鎌倉図書館は、戦前に建てられた神奈川県内唯一の図書館の遺構であり、つまりは神奈川県内で現存最古の図書館の遺構ということになる。加えて御成小学校講堂や御成門と一体となって、近年拡幅整備された市役所近辺の今小路通りの良好な景観を形成する重要な要素となっており、神奈川の図書館の歴史、ひいては広く文化史上からも重要な文化遺産と見なされる。